

【参考】マレーシア下水道整備プロジェクト

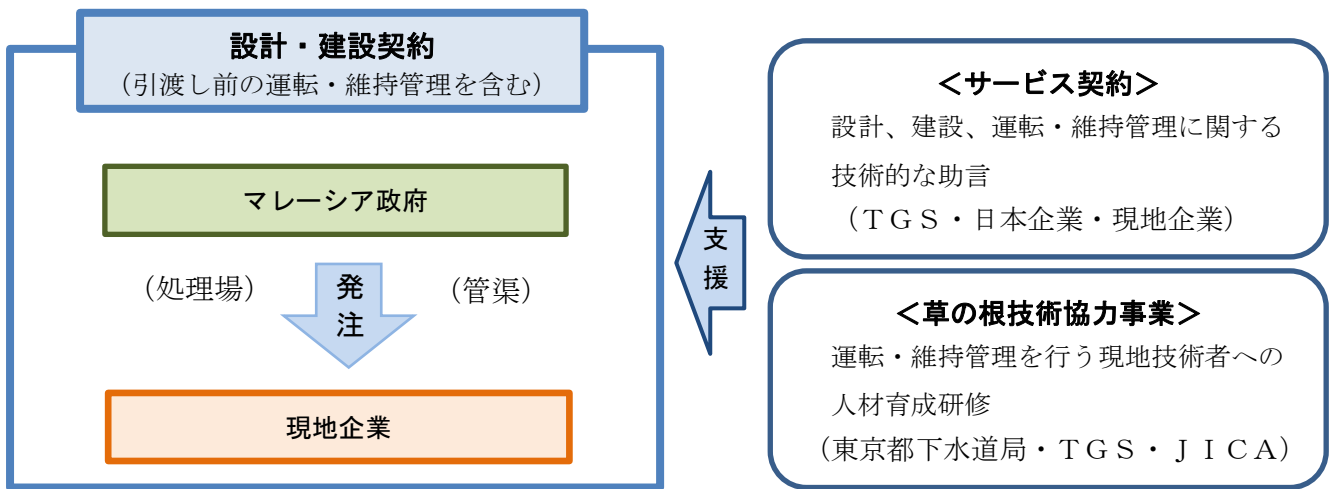
<概要>

平成 26 年、マレーシア政府は、下水処理場の集約化、経済性の高い処理施設の建設、効率的な運転・維持管理などを取り入れた下水道整備計画をもとに、ランガット地区における「新規下水処理場整備」を事業化することとした。これに対して、東京都下水道局と都の監理団体である T G S は一体的に、これまでの経験・ノウハウを活かし、技術提案・技術指導、研修生の受入れなど、関係省庁や国内企業と連携し、官民挙げて様々な支援を実施してきている。

<主な事業内容>

- 対象地区：首都クアラルンプール郊外のランガット地区
- 施設規模：下水処理場 1 か所（日量 約 20 万 m³/日）、管渠延長約 100 k m、
ポンプ施設 10 か所
- 期 間：6 年間（平成 26 年 10 月から平成 32 年 10 月）※マレーシア政府「契約合意書(H26.10)」より

<推進体制>



<スケジュール(予定)>

	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
マレーシア国の新規下水処理場整備							
設計・建設	→						
引渡し前の運転・維持管理					→		
(サービス契約)		→					
(草の根技術協力事業)				→			

(年)